御　中

平成　　年　　月　　日

アイカ工業株式会社　甚目寺工場
化成品カンパニー　品質管理グループ
お問い合わせ電話番号　052-443-4811

ＳＤＳ（安全データシート）のご送付案内とお願い

拝啓
　貴社いよいよご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。
　さて、労働省の有害性等情報通知制度に基づき、下記品目のＳＤＳを送付させて頂きます。お取り扱いをされます貴社関係者のすべての皆様方に当ＳＤＳをご参考にして頂き、有害性情報等についてご周知くださるようお願い致します。
　尚、誠に恐れ入りますが、ＳＤＳを受領されましたら「受領書」欄にご記入のうえ、速やかに弊社返送先までＦＡＸにてご返送くださいますよう、併せてお願い申しあげます。

敬具

店所記入欄

店所名：　　担当者：

ご送付日：　平成　　年　　月　　日

ＳＤＳ送付先顧客様：　　電話番号：

製品名

記入のうえ顧客様送付前に甚目寺工場生産企画部宛にＦＡＸお願いします。

ＳＤＳ受領書

製品名

返送先
アイカ工業株式会社　甚目寺工場
化成品カンパニー　生産企画部
FAX番号　052-443-4825

平成　　年　　月　　日

貴社名：　　ご担当部署：

ご担当者名：　　印

ご住所：

電話番号：

　ご記入のうえ、切り離さずに本紙をそのまま返送先までＦＡＸにてご返送下さいますようお願い申しあげます。

以下、余白

安全データシート

1.製品及び会社情報

会　　社　　アイカ工業株式会社
住　　所　　愛知県あま市上萱津深見２４番地
担当部門　　化成品カンパニー　品質管理グループ
電話番号　　052-443-4811　　FAX番号　　052-443-4825
緊急連絡先　　担当部門に同じ

整理番号：　ＤＳＥ－００９０－７
改訂日　　２０１４年　９月１０日
作成日　　２０１１年１２月１５日

製品名（化学名，商品名）　ＳＥ－１０００（アイカストロングル）

2.危険有害性の要約

GHS分類：

引火性液体	区分外
急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（経皮）	区分外
急性毒性（吸入：粉塵およびミスト）	区分外
皮膚腐食性／刺激性	区分３
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分２Ａ
皮膚感作性	区分１
生殖細胞変異原性	区分１Ｂ
発がん性	区分外
生殖毒性	区分１Ａ
水生環境有害性（急性）	区分３

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素：

・絵表示

・注意喚起語　危険

・危険有害性情報
軽度の皮膚刺激
強い眼刺激
アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
遺伝性疾患のおそれの疑い
遺伝性疾患のおそれ
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
水生生物に有害

・注意事項（ＧＨＳ対応表記）

安全対策
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
粉じん・ミスト・蒸気・スプレーの吸入を避けること。
取扱後は手をよく洗うこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
緊急時を除き、環境への放出を避けること。
保護手袋・衣類・保護眼鏡を着用すること。

救急措置
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断を受けること。
特別処置が必要。『4.応急処置』を参照。
皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断を受けること。
皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断を受けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。
汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。

保管　施錠して保管すること。

廃棄　内容物や容器を廃棄する場合は、法令・条例に従って廃棄すること。

※製品ラベルの有害性情報は製品群毎に共通の内容としていますので、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3.組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：　混合物
化学名：　変成シリコーン樹脂
成分及び含有量：

成分名	含有率（%）	CAS№	化審法
変成シリコーン樹脂　等	50～70	－	既存
アクリル樹脂	10～30	－	既存
すず及びすず化合物	0.1～3	－	既存

本製品には厚生労働省指定13物質･トリブチルスズ化合物およびジブチルスズ化合物は使用していません

4.応急措置

目に入った場合：　・清浄な水で１５分間以上洗眼し、眼科医の診断を受ける。
皮膚に付着した場合：　・付着物を拭き取り、水と石鹸でよく洗う。
・かゆみ，炎症が出た場合は、ただちに医師の診断を受ける。
吸入した場合：　・空気の新鮮な場所に移し、安静保温に努め、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合：　・医師の診断を受ける。

5.火災時の措置

消火方法：　・火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。消火には水スプレーにてタンク等の冷却を行う。
・保護衣を着用するほか、状況によっては、不浸透性手袋，有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。
消火剤：　水［　］，二酸化炭素［○］，泡［○］，粉末［○］，乾燥砂［○］　その他（　　）
使ってはならない消化剤：

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具および緊急措置：　・保護眼鏡，保護手袋，防毒マスク等を着用して作業する。
環境に対する注意事項：　・漏出した場所の周辺にはロープを張り、人の立入りを禁止する。
・付近の着火源を取り除き、消火器材を準備する。多量の場合には、流路を盛土などで囲って流出を防止する。
回収、中和：　・少量の場合は紙，布，砂などに吸収させ、フタ付きの器等に回収する。
・多量の場合は火花の出ないシャベル等で空容器等にすくい取る。
・漏洩物中には滑り事故を引き起こすものがあるため、適切な方法で除去する事。自然発熱が起こる可能性があるため、除去作業に使用したウエス、砂などは適切な方法で廃棄すること。
・流出，その他の事故が発生した時は、警察署，消防署等の関係機関に連絡する。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い：　・皮膚に触れないよう保護手袋、保護眼鏡等の保護具を着用する。
・取扱い後は手洗いを充分に行う。
保　管：　・容器は破損、腐食、割れ等のないものを使用する。
・直射日光を避け、容器を密閉し、冷暗所に保管する。

8.暴露防止及び保護措置

暴露濃度基準：

成分名	管理濃度
特になし	

設備対策：　蒸気，ミストが発生する場合には、局所排気装置などの排気のための装置を設置する。
保護具：　呼吸用保護具：有機ガス用防毒マスクを着用する。
保護眼鏡：　保護眼鏡を着用する。
保護手袋：　ＰＥ，ゴム製等の非浸透性の手袋を着用する。
保 護 衣：　長袖作業衣等を着用する。

9.物理的及び化学的性質

外　観　：	ペースト状
色　　：	薄白色半透明
臭　い　：	わずかにあり
ｐＨ　　：	測定できない
引火点　：	６０℃以上
密　度　：	1.1g/㎤（23℃）
溶解性　：	水に不溶
分解温度：	データなし

10.安定性及び反応性

安定性：	通常の取扱い条件では安定。
危険有害反応可能性：	通常の取扱い条件では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件：	高温、火気、スパーク。
混触危険物質：	酸、アルカリ、酸化剤
危険有害な分解生成物：	知見なし。

11.有害性情報

刺激性：	皮膚、眼をわずかに刺激する。繰り返し、長期間の接触は、炎症を起こす可能性がある。
急性毒性：	特になし

12.環境影響情報

移動性：	製品として知見なし。
廃棄：	漏洩時、廃棄などの際には注意を守ること。

13.廃棄上の注意

残余廃棄物：	廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び都道府県条例等に基づき焼却するか、許可を受けた処理業者に委託する。ウエス等も同様である。
汚染容器・包装：	内容物を完全に除いた後処分する。処理は法規の規定に従って行う。

14.輸送上の注意

国連分類：非該当　　国連番号：非該当

「取扱い及び保管上の注意」の項に記載による他、引火性の強い有害な液体に関する一般的な注意による。
その他、消防法，船舶安全法等の法令に定める所に従う。
容器に漏れのない事を確かめ、転倒，落下，破損がないように、積み込み荷崩れの防止を確実に行う。

15.適用法令

消防法：	危険物第四類第四石油類　危険等級Ⅲ
毒物劇物取締法：	非該当
労働安全衛生法：	［表示対象物質］非該当 ［通知対象物質］すず及びその化合物
ＰＲＴＲ法：	［第１種指定化学物質］非該当 ［第２種指定化学物質］非該当

16.その他の情報

ＪＡＩＡ０１０３９７　Ｆ☆☆☆☆
４ＶＯＣ放散速度基準：
日本接着剤工業会自主管理規定　ＪＡＩＡ－４０４３８１　４ＶＯＣ基準適合

記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては情報提供であり、いかなる保証もなすものではありません。
また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途･用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

引用文献：

・１４１０２の化学商品	化学工業日報社
・化学物質の危険，有害便覧	中央労働災害防止協会
・知っておきたい職場の化学物質	中央労働災害防止協会
・ＧＨＳ対応による混合物（化学物質）のＭＳＤＳ作成手法の研修テキスト（改訂版）	中央労働災害防止協会
・製品安全データシートの作成指針	日本化学工業協会
・原料メーカーのＳＤＳ	各原料メーカー